

創作の基本

ジャーナルなテーマか

時代にマッチした、タイムリーな話題を取り上げよう。

表現方法がユニークか

- 例.
- 1) 女子高校生の化粧について、顔のパーツが擬人化して話し合う。耳が「私は穴を開けられて、とても痛い」など。
 - 2) バブルがはじたことを示すために、横浜港に入港する船の喫水線の見え方で表現する。

何を伝えるのか、明確に

調べた事を全部詰め込むと、焦点がぼけてしまい、相手に伝わらなくなる。
今回は何を伝えるのかを明確にして内容を絞って制作する。

見る人が感じる間を

本を読む時は、人間は自分の理解できるスピードで読むが、テレビは勝手に流れていく。
理解を促すように、大事な所にフリップや表などを挿入する。
ただ長々と説明を加えるのではなく、黙って淡々と映像で表現するのも有効。

視覚化して流れを確認・検討

撮った映像を、1カットずつ写真（ポストイットなどでも可）にして、ホワイトボードなどに、全体を一目で見えるように貼る。
そして取捨選択し、編集する順番を検討する。

聞いてわかりやすい言葉か

「渴望する」などの、文字言葉は使わず、話し言葉を使う。
大事なインタビューでも、数回聞いて意味が解らない場合は、思い切って棄てる。

いい画は長く、いいコメントは短く

見ている人に感じさせるように、説明はあまりしない。

カメラは頭で撮る

何の目的で、何を撮るかをカメラマンに意識させる。
ディレクターは現場では無力なので、事前の打ち合わせが大切。

1 番面白いモノはラスト、2 番が頭

「劇」という言葉の意味は「戦い」
戦いのないドラマはない。

想像させるラジオ

ラジオは重要なメディア。
ないものでも実況で聞く人にイメージさせる事が出来る。